



NIC

は っ け ん
発見!
Hakken!

NAGOYA

「発見! NAGOYA」は NIC の ボランティアが 作っています。
名古屋や日本の文化をひとつずつ紹介しています。名古屋の新しい魅力が見つかるよう願っています。

Hakken! NAGOYA is put together by volunteers at the NIC. “*Hakken*” means “discover”.

Each issue focuses on a topic on Nagoya and Japanese culture. We hope you'll discover something new that enriches your time in Nagoya.

だい かい とこなめさんさく
第 15 回 : 常滑散策 Issue :15



やきものの街 常滑を散策してきました。中部国際空港駅から電車で3分でいけます。歩いて回れる範囲に 魅力的な場所がたくさんあるので紹介します。

We took a walk in *Tokoname*, the place is famous of ceramics.

The area is only 3 minutes by train from “Central Japan International Airport Station”.

There are many attractive places within walking distance, so we will introduce them here.

行き方

めいてつなごやえき とこなめえき
名鉄名古屋駅→常滑駅 (名鉄特急電車で約30分)

ちゅうぶこくさいくうこうえき とこなめえき
中部国際空港駅→常滑駅 (名鉄特急電車で約3分)

Access

Meitetsu-Nagoya Station - Tokoname Station (30 minutes by Meitetsu Limited Express)

Central Japan International Airport Station - Tokoname Station (3 minutes by Meitetsu Limited Express)

Hakken! NAGOYA のスタッフは めいてつなごやえき とつきゅうでんしゃ の とこなめえき へ
名鉄名古屋駅から特急電車に乗って常滑駅に向か
いました。

とこなめ ねん い じょうまえ
常滑では1000年以上前から 焼き物を生産しています。 ぜんせい き ねんだい
全盛期は1950年代

でした。 やきもの さんぽみち には 無数の工房があります。

とこなめえきかいさつぐち で かんこうあんないじょ とこなめ し かんこう
常滑駅改札口を出て すぐに見える観光案内所 (常滑市観光プラザ) に行きました。

We, Hakken! NAGOYA staff, took the Meitetsu limited express from Meitetsu-Nagoya Station to Tokoname Station.

Tokoname has been a production center of ceramics for over 1000 years, and in its heyday in around the 1950s, the *Yakimono Sanpomichi* (Pottery Footpath) was dotted with a myriad of pottery factories.

We went to the tourist information center (Tokoname Tourist Plaza) located right outside the ticket gates of Tokoname Station.



①^{とこなめし かんこう}常滑市観光プラザ Tokoname City Tourism Plaza (Tourist Information Center)

^{とこなめし かんこう}常滑市観光プラザ(^{かんこうあんないじょ}観光案内所)に入^{はい}ってすぐのところに ^{とこなめ かん}常滑に関するいろいろなパンフレットがありました。

パンフレットは^{にほんご}日本語・^{えいご}英語・^{ちゅうごくご}中国語2種類 (^{かんとうご}広東語 ^{ふつうご}普通話)・^{かんこくご}韓国語の5言語のものでありました。

There were various leaflets of Tokoname at the entrance (Japanese, English, Mandarin, Cantonese and Korean) in Tokoname City Tourism Plaza.

^{あんないじょ}案内所には ^{とこなめやき}常滑焼から^{まね ねこ}招き猫グッズや^{じもととくさんひん}地元特産品のお^{みやげひん}土産品なども ^お置いてありました。

There were variety of local souvenirs, such as *Tokoname* ware, Maneki Neko (Lucky Cats) goods, and local specialties, too.

まずは^{かんこうあんないじょ}観光案内所へ^た立ち寄^よることをおすすめします。

We recommend you to go there first.

スタッフの方^{かた}々に^{とこなめ かん}常滑に関する ^{はなし}話を^き聞きました。とても^{しんせつ}親切に^{おし}教えていただいた^{あと}後

スタッフの方^{かた}へいくつか^{しつもん}質問をしました。

There were some friendly staff. We asked some questions about Tokoname-City.

Q. 常滑^{とこなめ}の観光^{かんこう}は初めて^{はじ}なのですが お勧め^{すす}スポットはどこですか？

A. 海外^{かいがい}から来た^き方には^{かた} とこにゃん（後^{あと}で詳しく説明^{くわ}します）が人気^{せつめい}です。

Instagramの写^{しゃ}真^{しん}を見^みせて とこにゃんの場^ば所^{しょ}を聞^きく観^{かん}光^{こう}客^{きゃく}がた^たくさんいらっしや
います。

Q. This is our first time to visit Tokoname-City. What do you recommend?

A. The “Tokonyan” (we will explain later ⑧) is very popular among tourists.

Many tourists ask where “Tokonyan” is with photos of Instagram.

Q. 散策^{さんさく}の仕^{しか}方^たを教^{おし}えてください。

A. やきもの散歩^{さんぽ}道^{みち}がおすす^めです。

コ^のースが載^ちっている地^ち図^ずがありま^すので 地^ち図^ずを見^みながら気^きになるス^ポットをまわるとい
い^ですよ。

Q. What do you recommend to enjoy Tokoname?

A. We recommend the “Yakimono-Sanpomichi (Pottery Footpath) ”.



(地図上のやきもの散歩道の赤い線がAコース 青い点線がBコース)

(There are “*Yakimono-Sanpomichi* (Pottery Footpath)” where A route (Red line) is short path and B route (Blue line) is long path on the map.)

私たちは やきもの散歩道のAコースに行くことにしました。

まずは教えていただいたことをもとに 瀧田家を目指して歩きました。

So we choose “*Yakimono-Sanpomichi* (Pottery Footpath)” where A route (Red line), then we decided to go to the Takita Family Residence.

② 瀧田家 The Takita Family Residence (Old shipping dealer)

散策コースを進んでいくと 瀧田家が見えてきました。

We saw the Takita Family Residence when we went ahead through the *Yakimono Sanpomichi*.

この家の前の歩道には焼き物が埋められており でんでん坂と呼ばれる 珍しい見目の
道路となっています。

でんでん坂の名前の由来は 廻船を見張る「伝の山」からきています。(諸説あり)

The walkway in front of this Residence is filled with pottery, making it an unusual-looking road called “DENDENZAKA”.

The “DENDENZAKA” named after “Mount Den” that watched over ships. (There are various theories.)



瀧田家は廻船業で栄えた常滑を代表する廻船主です。

1850年頃に建築された建物を改築し2000年から公開しています。

ここでは家屋に入り 瀧田家の歴史や 当時使われていた道具 設備

を見学することができます。

The Takita Family is one of representative shipping dealers in Tokoname-City. The Takita Family Residence, built in 1850s, was renovated and opened in 2000. You can visit it and watch the old tools and equipment used at the time.

展示されている説明文を読んでいくと 常滑は焼き物の町だけでなく1880年ごろまでは廻船の町でもあったことがわかりました。主に焼き物に加えて常滑周辺の地域で採れた米 酒 油 なども江戸（東京）方面に運び 帰りには大豆や麦などを運んできました。

Reading the explanations on display, we learned that Tokoname-City was not only a town of pottery, but the town of shipping dealers. They shipped rice, sake, oil and pottery to Edo (Tokyo). They brought back soybeans, wheats and so on in return.



がいかん しゃしん
(外観の写真)



(The appearance of the house)



(かまどの写真)



(参考資料)

(Photo of wood-burning stove) (As a reference)



土間に台所があり 狭くて急な階段 日本庭園を見渡せる縁側 など当時の日本家

屋にいるような 体験ができます。

また 土間にはいろいろなサイズの法被もおいてあり 試着ができます。

実際に着て 写真を撮ってみました。

The house has a kitchen in the earth floor, a narrow and steep stair, and a veranda where we can sit and watch the Japanese garden. You can feel history there.

There are also “Happi coats” of various sizes display in the earth floor, where you can try it on. We actually tried them on and took some photos.



いえ なか には おお 大きな はんせん もけい タンス とう じつか 当時使われていた ながもち いるい ほんよう はこ (衣類保存用の箱)

などが 展示 してあります。

Inside the house, there are exhibits such as a replica of a large sailing ship, drawers, and Nagamochi (wooden boxes for storing clothes) that were used at the time.



はんせん
(帆船)

(Replica of a large sailing ship)



ながもち しゃしん
(長持の写真) (Photo of Nagamochi)

にほんていえん　すいきんくつ　み　みどころの　ひと　一つです。すいてき　つち　う　水滴が土に埋められた甕の中で反響し

みみ　す　耳を澄ませると　こと　琴のような音をおと　たの　楽しむことができます。

The *Suikinkutsu* is one of the decorations of the Japanese garden.

The sound of water drops resonates inside of the ceramic pot which is buried under the ground, and if you listen carefully, you can enjoy a *Koto* like sound.



すいきんくつ　しゃしん
(水琴窟の写真)

(Photo of *Suikinkutsu*)

とこなめし　していゆうけいぶん　か　ざい　とこなめ　れきし　かん　常滑市の指定有形文化財でもあり　常滑の歴史を感じられる施設の　ひとつです。

けんがく　さい　じ　かん　見学をしている際　時間がゆっくりと過ぎていくような気分になりました。

The Takita Family Residence is Tangible Cultural Property Designated by Tokoname City.

When we were touring the house, we felt like time was passing slowly.

アクセス　じょうほう　情報

にゅうじょうりよう　おと　な　入場料：大人300円　ちゅうがくせい　か　むりよう　中学生以下無料

かいかん　じ　かん　開館時間：9時30分から16時30分

ていきゅう　び　まいしゅうすいよう　ねんまつねん　し　定休日：毎週水曜　年末年始

Information

Admission Fee: One Adult ¥300

Children (junior high school and under) free

Opening hours: 9:30am to 4:30 pm

Closed: Every Wednesday, New Year's Holidays

③土管坂^{どかんざか}

土管坂^{どかんざか}は 瀧田家^{たきたけ}から 南^{みなみ}に 10メートルほどの 所^{ところ}にあり やきもの散歩道^{さんぽみち}を代表^{だいひょう}する風景^{ふうけい}の1つです。

約100年前^{ねんまえ}の土管^{どかん}と酒瓶^{さかびん}が左右^{さゆう}の壁面^{へきめん}をびっしりおおっています。坂道^{さかみち}には土管^{どかん}の焼成^{しょうせい}時に使用^{しよう}した捨て輪^{すわ}の廃材^{はいざい}を敷^しき詰^つめて 滑^{すべ}らず歩^{ある}きやすいように工夫^{くふう}されています。

映画^{えいが}の登場人物^{とうじょうじんぶつ}になれるようなオシャレな雰囲気^{ふんいき}でした。

ぜひこちらで思い出^{おもいで}の1ページを作^{つく}ってください。

Dokan-zaka Hill (Clay Pipe Hill)

Located about 10 meters south of the Takita Family Residence, Dokan-zaka Hill is one of the most iconic sights along “*Yakimono-Sanpomichi* (Pottery Footpath)”. The walls on both sides are densely covered with clay pipes and sake bottles which were made by around 100 years ago. The path is paved with discarded kiln rings, which were used during the firing process, making the slope slip-resistant and easy to walk on.

With its stylish yet nostalgic atmosphere, it feels like stepping into a scene from a classic film. Be sure to capture a special memory here.



④土管坂 休憩所^{どかんざかきゅうけいじょ}

土管坂^{どかんざか}のすぐ近く^{ちか}には 休憩所^{きゅうけいじょ}があります。

Restroom Dokan-zaka Hill (Clay Pipe Hill)



すや 素焼きされた カップ 皿^{さら} 招き猫^{まね ねこ}など10種類^{しゅるい}から選^{えら}んで 自由^{じゆう}に絵付^{えつ}けができます。

その後^{ごしやうせい}焼成^{せい}するため 出来上^{できあ}がりは約一か月^{やくいつ げつ}後です。マジックも用意^{ようい}してあり その

ばで作品を持って帰ることもできます。

Pick your favorite from more than 10 types of items of bisque pottery.
And paint it as you like. Your work will be fired and finished in about a month.
If you'd like to take your work with you on the same day, try the painting experience using markers.

ここには トイレメーカー3社の洋式個室トイレがあります。(蔵のトイレ)

使用できるトイレが男性と女性で 週によって替わるのも面白いですね。

The Dokan-zaka Rest House has a collection of western-style private bathrooms from three toilet manufacturers. (Toilets in Japanese Storehouse)
It is also unique in that the toilets available for men and women are switched weekly. Try using them while walking around the Pottery Footpath.

⑤ 昼休憩

土管坂を過ぎ 少し歩いた先のお店で 昼食をとりました。古民家を改築したような作りで 懐かしさを感じました。今回入ったお店では 常滑焼の器で 食事を楽しむことができました。メニューには 地元でとれた魚やのりを使った ちらし寿司などがありました。全部違った色や柄の器で どれもとても情緒豊かでかわいかったです。

同じようなレストランがいくつかありますので ぜひランチをしてみてください。

Lunch time

After Dokan-zaka, we had lunch at the restaurant that had been converted a small traditional house. For lunch, we enjoyed *Tokoname-yaki* pottery in the restaurant.

The menu included Chirashi sushi made with locally sourced fish and seaweed.
Each dish was unique in color and pattern, and absolutely charming.

You will find several similar restaurants nearby. So we recommend to have a lunch at the one of them.

⑥^{やさいむら}野菜村 Yasai Mura

^{とこなめ}常滑^{やさい}やさい村では ^{じもととこなめ}地元常滑でとれた^{しんせん やさい}新鮮野菜や ^{ち たはんとう}知多半島ならではの^{ぎょかい}魚介類や^{とくさん}特産品などが^{こうにゆう}購入できます。 ^{ね う かかく こうにゆう}お値打ち価格で購入できるものがたくさんあり ついつい

たくさん^か買いすぎてしまいました。 ^{じかい さんさく さいご た}次回は散策の最後に立ち寄ることにします。

At *Tokoname* Yasai Mura, you can buy fresh vegetables from *Tokoname*, seafood and specialties unique to the Chita Peninsula. There are many items available at reasonable prices, and we ended up buying too many things. Next time, we will stop by at the end of my stroll.

⑦^{のぼりがま}登 窯

^{ど かんざか}土管坂から ^{みなみ}南に^{さん ぼ みち ある}やきもの散歩道を歩いていくと ^{おお のぼりがま}大きな登 窯が見えました。 ^{のぼりがま}登 窯とは ^{しゃめん きず かま}斜面に築かれた窯のことで ^{きげん ちゅうごく}その起源は中国にあります。

その窯は^{かま}1887年頃^{ねんごろ きず}に築かれ ^{ねんい じょうしやう}80年以上使用されています。 ^{とこなめさいご のぼりがま}常滑最後の登 窯で
あり ^{のぼりがま}登 窯としては^{にほんさいだいきゆう き ぼ}日本最大級の規模です。

^{けいしやく}傾斜角 ^{やく}約 ^ど17度 ^{しょうせいがま たか}8つの焼成窯 高さの異なる ^{ぼん えんとつ とくちやう}10本の煙突が特徴です。

1982年に^{ねん}国の^{くに}重要有形民俗文化財に^{じゅうやうゆうけいみんぞくぶん かざい}指定され ^{しえてい}2007年には^{ねん}近代化産業遺産^{きんだいかさんぎやうい}にも認定されました。

とうじはとてもいそがしくにぎわっていたのだらうとおもわせるような場所でした。

When we walked south along “*Yakimono-Sanpomichi* (Pottery Footpath)”, we saw a large climbing kiln (Nobori-gama). “Climbing kilns”, so called because they are built on a slope, originated in China. It was built around 1887 and used for more than 80 years. Tokoname’s last “Climbing kiln” and one of the largest of its kind in Japan.

The kiln is characterized by 10 chimneys of different heights, 8 firing kilns, and an angle of inclination of approximately 17 degrees.

In 1982, it was designated as an Important Tangible Folk Cultural Property of Japan, and in 2007, it was recognized as a Heritage of Industrial Modernization.

Standing before it, you can almost feel the energy and bustle of the past, we could imagine people were so busy at that time.



⑧とこにゃん TOKO-NYAN

のぼりがまを見たらコースから少し外れて海外でも人気がある とこにゃんを見に行きました。

(表紙の写真参照) 有名な常滑焼の作品で 大きさは高さ3.8メートル 幅6.3

メートルです。日本一といわれる大きさで 常滑駅からも見るができます。左

手で人を招くようなしぐさは可愛く愛嬌もあります。ちなみに右手を上げている猫

は「金運を招く」左手を上げた猫は「人や客を招く」といわれています。

とこにゃんの前には小さな猫たちの置物があり とこにゃんを見つめています。

After seeing the climbing kiln, we went a little off course to see a giant lucky cat “TOKO-NYAN” which is also popular in the oversea. (See the photo on the cover) This is a famous *Tokoname* pottery and measures 3.8 meters high and 6.3 meters wide. It is said to be the largest in Japan and can be seen from *Tokoname* Station. The way it beckons people with its left hand is cute and charming.

A cat with its right hand raised is said to “bring luck with money”, and a cat with its left hand raised is said to “bring people and guests”.

There are small cat figurines which are staring at TOKO-NYAN.



はし 橋から とこにゃんがよく見えました。

We could see the TOKO-NYAN from the bridge.

とこにゃんの^{しゃしん}写真を撮ったあとは ^{みちあんないふだ}道案内札の4まで^{もど}戻り^{えき}駅の方に^{ほう}坂を下っていきま^{さか}くだ

した。広い道に出たところで「とこなめ招き猫通り」として親しまれている道を東

に400メートル歩いて（駅とは反対方向）陶磁器会館へ向かいました。

道路沿いのコンクリート壁に「御利益陶製招き猫」39体「本物そっくりの猫」11

体があり、その上に先ほど見た巨大招き猫の顔「とこにゃん」があります。

After taking a photo of TOKONYAN, we returned to the number 4 sign on the road and headed down the hill toward the station.

We came to a wide road, where we headed 400 metres east (in the opposite direction from the station) along what is affectionately known as *Tokoname Lucky Cat Street*, towards the Ceramics Hall.

On the concrete wall along the road, there are 39 "lucky ceramic beckoning cats" and 11 "realistic cats," and on top of them is the giant beckoning cat face "TOKONYAN" that we saw earlier.



⑨ 常滑陶磁器会館 *Tokoname Ceramics Hall*

常滑焼き物情報センターです。

1階は手ごろな価格で常滑焼を購入できる展示販売所になっています。

ここは「やきもの散歩道」の出发点・到着点なので、ここを起点に散策を楽しんでく

ださい。

This is the *Tokoname* Pottery Information Center. The first floor is an exhibition and sales center where you can purchase *Tokoname* ware at reasonable prices.

This is the starting and ending point of the “*Yakimono-Sanpomichi* (Pottery Footpath)”, so please enjoy your stroll from here.

⑩あとなぎ Afterword

とこなめ まちぜんたい とこなめ や
常滑は 街全体が常滑焼きにあふれており 常滑の文化と歴史に触れることもできま

す。わたし なごやえき とこなめ む ちゅうぶこくさいくうこう
私たちは名古屋駅から常滑へ向かいましたが 中部国際空港（セントレア）から

は2駅なので かんたん い ことができます。 とこなめ し かんこう ちず じょうほう て い
は2駅なので 簡単に行くことができます。 常滑市観光プラザで地図や情報を手に入

れて とこなめさんさく たの
常滑散策を楽しんでください。

とこなめ し かんこう
常滑市観光プラザ Tokoname City Tourism Plaza (Tourist Information Center)

Tokoname City is filled with *Tokoname* ware, and you can experience the culture and history of *Tokoname*. We headed to *Tokoname* from Nagoya Station, but it's only two stations from Chubu Centrair International Airport, so it's easy to get there. Please come and take a walk during the good season.